

**協立病院の理念**

人権と人格を尊重した、  
こころとからだの総合  
診療とケアを実践する

**協立病院だより**

No.43 2012年5・6月号

発行:みさと協立病院

〒341-0016 埼玉県三郷市田中新田273-1  
TEL 048(959)1811/FAX 048(959)1819  
<http://www.tokyo-kinikai.com/misato/>

**この一年の活動方針****【 理 念 】**

人権と人格を尊重した、こころとからだの総合診療とケアを実践する

**【 基 本 方 針 】**

- 一、慢性疾患・精神疾患・障害者の地域生活への復帰を、入院医療・リハビリテーション・通所・地域包括ケアを通して、援助します
- 一、回復期の医療とリハビリテーションを、他病院や在宅医療との連携を密に、切れ目なく進めます
- 一、生活臨床の継承・発展を目指し、急性期対応からリハビリテーションまで継続した精神科医療を実践します
- 一、多職種の専門的知識と技術が發揮できるチーム医療とリエゾン診療を行います
- 一、医療の安全性・倫理性や社会規範など、今日の病院の標準的基準を整備し実行します
- 一、社会保障の充実、安全な環境や世界平和を求める運動に、地域の人々とともに取り組みます

私たちは、以上の理念・基本方針と民医連綱領を基礎に、日常の医療・看護・介護を進めます

4月18日、協立病院で  
は全職員を対象にした集  
会が開催されました。集  
まつた職員は97名、会議  
室に入りきれず窓の外の  
屋上敷地まであふれかえ  
り熱気あふれる集まりに  
なりました。

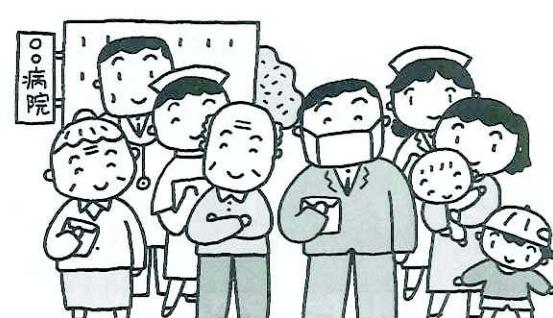
鈴木院長から、協立病  
院の理念と基本方針の提  
起がありました。理念は  
職員が共通してめざす目  
標を簡潔に表現しています。

(左に「理念と基本方針」  
の全文を掲載します)  
職員からは「一緒にみ  
さと協立病院で働くもの  
どうし、同じ目標が確認  
できることで元気になつた  
との声が寄せられました。  
内容は「人権と人格を  
尊重した、こころとから  
だの総合診療とケアを実  
践する」というもの。基  
本方針は6つの柱で構成  
されています(資料参照)。

矢花副院長からは今年  
度の精神科の方針の報告  
です。病棟の看護基準13  
対1を取得したこと、地  
域訪問チームを立ち上げ  
て地域生活支援のとりく  
みを強化することの決意  
訴えがありました。

大葉事務長からは「質  
の高い医療と提供と健全  
な経営の確立はコインの  
表裏のようなもの。どちら  
も前進させよう」との  
訴えがありました。  
それぞれの職場からも  
今年度の職場目標が生き  
生きと語られ元気の出る  
集会になりました。

が語られました。



# 新入職員15名が勢ぞろい



今年は、東京勤労者医療会に84名の新入職員が入職し、そのうち薬剤師1名・看護師5名・理学療法士3名・作業療法士2名・言語聴覚士2名・精神保健福祉士1名・事務1名の総勢15名が、みさと協立病院に配属されました。

4月2日～3日の法人全体のオリエンテーションの後、4月4日～6日の

15名を対象に、みさと協立病院の才を行いました。

今回のオリエンテーションは、同期の職員が仲良くなること、みさと協立病院がどのような医療を目指しているのか、みさと協立病院の決まりごとを知つてもらうために行いました。



域を歩いてもらい、3日間で新入職員15名を対象に、みさと協立病院の才を行いました。

今年は、東京勤労者医療会に84名の新入職員が入職し、そのうち薬剤師1名・看護師5名・理学療法士3名・作業療法士2名・言語聴覚士2名・精神保健福祉士1名・事務1名の総勢15名が、みさと協立病院に配属されました。

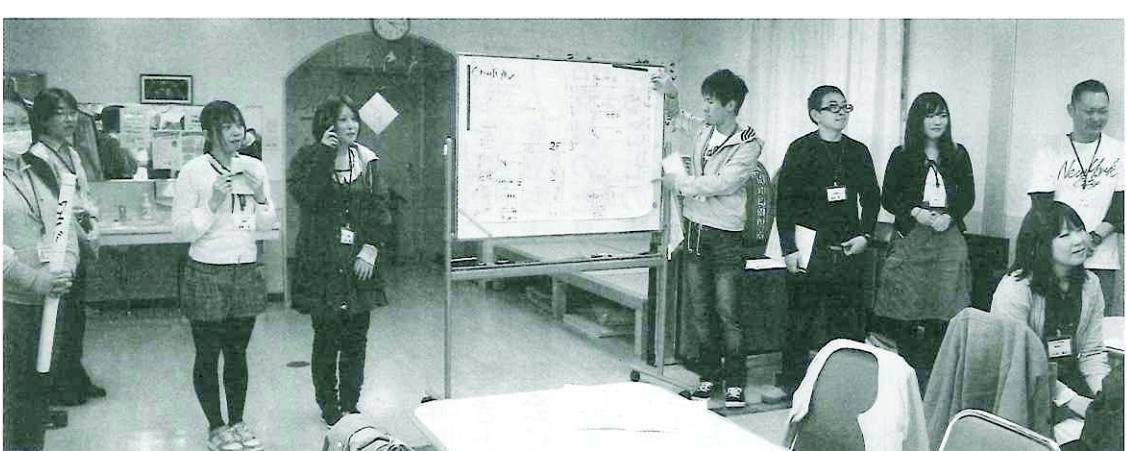
4月2日～3日の法人全体のオリエンテーションの後、4月4日～6日の

15名を対象に、みさと協立病院の才を行いました。

今回のオリエンテーションは、同期の職員が仲良くなること、みさと協立病院がどのような医療を目指しているのか、みさと協立病院の決まりごとを知つてもらうために行いました。

1日目は、みさと協立病院がどのような実践をしてきたのか、これから何を目指していくのか等、また、医療安全や感染対策のみさと協立病院のルールなどの講義が中心の一日でした。

2日目と3日目は、仲間づくりの一環で、グループワークを中心にしてスケジュールです。オリエンテー



職場探検でも、2グループに分かれて、指定された職場をまわり、職責者からその職場の仕事や役割の説明があり、新入職員は真剣なまなざしで聞き入り、積極的に質問を職責者に投げかけていました。

おりしも、桜の花見の時期。2つの病棟の花見の企画に、車椅子の介助などを行ないました。患者さんからは、「花見なんて何年ぶりだろう。本当にありがとうございます」となど感謝の声を聞くことができました。

リーダーシップを発揮する職員が現れたりと、笑い声が飛び交うグループになり、仲良くなる第一歩が踏み出せました。



グループワークを通して、最初はぎこちなかつたグループが、オリエンテーション終盤には、個々の役割が明確になつたり、

そして病院内に新しい風が吹く予感を感じさせられることができました。

# みまと俳壇

通所リハビリ句会

葉桜のおくに咲いたる八重桜

松浦 博

松本 無音

茶柱の立ちてときめく立夏かな

題名 花 はなどき 季

震災に負けじと三春の桜かな

西沢 ヨシ子

山桜雨ふる毎に新芽かな

山科 千鶴子

咲く花も散る花もある春の風

松本 無音

## みまと協立病院だより

最近、患者参加型看護計画を実践したAさんの話をします。看護計画とは、患者さんの願いを叶えるためにどんな看護をしていくか、大もとになるものです。

患者参加型では、看護計画を作るところから患者さんに参加してもらい、二人三脚でより患者さんの立場にた

日焼けした肌と、がつしりとした体格のAさんは現在80代。定年まで農業に勤しんできま

んが「孫の結婚式

となりました。リハビリでは張り切って取組んでいま

は、日を追うごとに元来の我慢強い性格でも排泄の自立に向けて取り組む姿勢がみられ

ました。しかし、日を追うごとに元来の我慢強い性格でも排泄の自立に向けて取り組む姿勢がみられ

つた看護ができます。近年注目されましたが、当院も積極的導入に向け取組み出しました。

以下にその取り組みの一端を紹介します。

そのため、リハビリ目的での入院となりました。リハビリでは張り切って取組んでいま

式まで3週間。一

Aさんの意欲を引き出せたことが大きな成果に繋がりました。今後も

患者さんの思いに寄り添う看護をしていきたいと思

# はなと看護の

## 「孫の結婚式に出たい…」を実現するためには

2 南病棟 石川 美佐

るようになり、オムツからトイレで排泄できるようになります。当日、礼服を身に付け挙式に出席。「孫もきれいだつたし、桜も満開だつた!良かつたよー!」と満面の笑みで嬉しそうに話してくださいました。

さくらの木の下で、孫の結婚式に出たい」という想いを持つていることを知りました。良かつたよー!と満面の笑みで嬉しそうに話してくださいました。

Aさんの意欲を引き出せたことが大きな成果に繋がりました。今後も

患者さんの思いに寄り添う看護をしていきたいと思

ます。

## 東京労働者医療会の医療・介護の充実のために 地域協同基金・寄付金・特定協力借入金にご協力下さい

(無利息)

(年利1.5%、5年間)

## 募集のご案内

申込用紙は当法人の病院・診療所・各事業所においてあります。  
詳しくは「募集のご案内」をご覧ください。

医療法人財団 東京労働者医療会

法人 経理

〒151-0051 渋谷区千駄ヶ谷5-12-12 歯科センター3F  
03-5366-6893 Fax 03-5366-6423

問合せ先

## いのちと暮らし守れ! 懇親の 6・23国民大集会

日時：6月23日（土）

11時：文化行事

12時：開会 13時：パレード

場所：明治公園

## みまと協立病院 外来診療案内 ☎ 048(959)1811 [代表]

受付時間 午前8:45~11:15/午後1:00~4:00

	月	火	水	木	金	土
内科	午前	坂口 志郎 (9時30分開始)	鈴木 篤	生田 利夫	天笠 恵	猪岡 保裕
精神科 神経科	午前	畠野 内田	大谷 松永 丹野	畠野 内田	矢花 篠原 高橋	畠野 内田 荻野 第1・3・5 畠野 第1・3 丹野 第2・4 大谷 第2・4 竹内
	午後	畠野 松永	矢花 丹野		大谷 畠野	

※ 11月12日より、毎月第2・4土曜日の精神科外来に、新たに竹内真弓医師が診療することになりました。  
※ 精神科をはじめて受診される方については予約制となっています。  
※ 急患の場合は先ずお電話でお問い合わせ下さい。

## 青空健康相談会

日時 每月第3金曜日  
7月20日（金）14時～場所 マツモトキヨシ  
早稲田店前

お気軽になんでもご相談ください。

